

「誰でも楽しめる」そんな場所を作っていきたい

地域の身近な場所で障害者スポーツやレクリエーションに親しむことが出来る拠点づくりを目指して、令和2年6月に「パラスポおすすめ」は誕生しました。

設立のきっかけは、平成28年に肝付町社会福祉協議会が入る福祉会館の新築に伴い、会館と周辺の広場を拠点に障害者スポーツやレクリエーション活動に取り組んだこと。現在、毎月第3土曜日を「スポレクの日」と定めて、18名の会員を中心に活動しています。

町内のきもつきスポーツクラブにも加入しており、会長の倉岡満さんは、他のクラブとも交流しながら「障害の有無や年齢に関係なく、フライングディスクやボッチャなどの主にパラスポーツを通して、誰でも気軽に楽しめる場所を作ろうと活動しています。」とのこと。東京パラリンピックでも正式競技となったボッチャは、見た目は派手ではありませんが、知的な戦略や技術・集中力が求められます。「和気あいあいとした雰囲気の中にも緊張感があり、皆で戦略を考え

パラスポおすすめ



サイクリングやマリンスポーツなど、障害があると難しいこともサポートを受けながら活動しています。



ボッチャは、東京パラリンピックでは金メダルを獲得し、今後ますます注目されるでしょう。



初めてのユニバーサルツーリズムでは、24名御参加いただき、車いすのまま乗降可能な大型バスの体験など、町内観光を行いました。

たりできることがボッチャの魅力かもしれません。サポートを受けて参加することも出来るので障害の有無にかかわらず楽しむことができます。」と会員以外の方にも参加を呼びかけています。

また、パラスポおすすめでは、ユニバーサルツーリズムにも力を入れており、現在の、県内の観光地や施設等を視察し、高齢や障害のある旅行者に対するおもてなし方法等の情報収集を行っています。

「パラスポおすすめ」の書記を務める肝付町社会福祉協議会の地域支援専門員の有村みゆきさんは「ユニバーサルツーリズムを通じて、心のバリアフリーを進め、障害のために旅行をためらっていた方も気軽に楽しめるような環境整備などの普及・啓発を進めていきたいです。」と今後の目標をお話しいただきました。

障害や年齢に関係無く、参加者が分け隔て無く活動しているパラスポおすすめ。倉岡会長は、「多種多様な話を聞けるのもパラスポおすすめの魅力のひとつ。意見を聞き、多少のルール変更をしながら誰でも楽しめる環境作りを行っています。少しでも『やってみたい』と思うことがあればパラスポおすすめでサポートいたします。笑顔で皆さんの参加をお待ちしています。」とお話されました。

現在、新型コロナウイルスの感染防止対策も行いながら、主に屋外での活動に取り組んでいます。興味のある方は、是非、お問い合わせいただきたいと思います。

パラスポおすすめ

(肝付町社会福祉協議会内)

〒893-1207 肝属郡肝付町新富 5589-8

TEL : 0994-68-8188

活動時間 第3土曜日 10:00 ~ 12:00

